

A. 主な動き

1. 内政

刑事事件に関する動き

・3日、ティモシェンコ前首相は、クジミン検事総局副総長に対し、ヴラセンコBYT議員を担当弁護士として認めるよう求める旨の請願を提出。一方、検事総局は、ティモシェンコ前首相がヴラセンコBYT議員の同席を要求して取り調べを妨害しているとし、同前首相の拘束許可を裁判所に請求する可能性を示唆する声明を再度発表。

・4日、マルテニス欧州議会欧州人民党党首は、ティモシェンコ前首相に対する2009年のウクライナ・露間のガス契約締結に関する刑事事件による取り調べは、ヤヌコーヴィチ大統領による野党勢力排除という政治的動機に基づいたものである旨非難する声明を発表。

・5日、「国民自衛」党は、ルツェンコ前内相は栄養摂取を拒否しており危険な健康状態にある旨の声明を発表。一方、検事総局は、同前内相の健康状態は担当医師によって管理されており問題は無い旨の声明を発表。

・6日、ルツェンコ前内相及び同担当弁護士は、ヤヌコーヴィチ大統領に対し、同前内相拘束に関する状況の精査及び根拠のある対応を要請する書簡を发出。同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、同書簡をプシオンカ検事総長に送付した旨発表。

報道の自由

・2日、米民間団体「Freedom House」は、2010年の報道自由度評価において、ウクライナに対する評価を「自由」から「部分的に自由」に格下げ。3日、ウクライナ民間団体「マスメディア研究所」他は、ウクライナのマスメディアの主な「敵」はヤヌコーヴィチ大統領及びアザロフ首相等である旨発表。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、報道の独立の重要性を指摘し、ゴンガゼ記者殺害事件の実行犯を処罰すべく同事件の真相を必ず明らかにする旨の声明を発表。

2. 経済

マクロ経済

・6日、国家統計委員会は、4月のインフレ率は対前月比0.1ポイント低下の1.3%、今年初めからのインフレ率は4.7%と発表。

農業

・4日、「フリブインヴェスト」社は、農業基金との先物取引で、86万トンの穀物購入契約(約15億グリーブナ)を締結、小麦22万5,000トン及びトウモロコシ57万7,000トンを含む80万2,000トンの穀物の輸出、穀物輸出割当規制における85～86万トンの割当(割当を受けた会社の中では最大)を受領。

ガス問題

・30日、ボイコ・エネルギー石炭産業相は、今夏にはウクライナと露はガス価格契約交渉で妥協に達し、新たな契約に署名する可能性がある旨発言。

・1日、アザロフ首相は、ティモシェンコ前首相は、権限を逸脱して2009年の対露ガス価格契約に署名し、国益を損ねた旨発言、同時に、露が右契約のガス価格算出公式を見直すことになると希望を表明。

・4日、経済発展・貿易省は、2011年第2四半期の露天然ガス価格が295.6ドルとなる旨発表。

・5日、プーチン露首相は、「ノルド・ストリーム」によるガス輸送が2011年第4四半期に始動する旨発表。

・6日、ナフトガスは、露ガスプロムに対する4月分の天然ガス代金の支払いを完了、2011年第2四半期のガス価格は1,000立方メートルあたり297ドルと発表。

その他

・4日、ヤヌコーヴィチ大統領は、今年末までに2012年欧州サッカー選手権大会のためのインフラが整うだろうと発言。

・5日、パローハ非常事態相は、国際社会は、原子力の利用と安全のため、チェルノブイリ及び福島を考慮して新たな国際戦略を策定すべきであり、ウクライナはこのプロセスにおいて積極的な貢献を行う用意がある旨発言。

3. 外政

▼2～3日、EURONESTの開催(於ブリュッセル)

・3日、EURONEST(東方パートナーシップ対象国議員会合)にウクライナよりタラシュク最高会議外務委員長他が参加。参加者は、EURONEST創設規定に署名、タラシュク委員長をEURONEST共同議長に選出。

・3日、タラシュク委員長は、参加者は東方パートナーシップ対象国がEUの標準及び価値観に接近するために集合した旨発言。

・3日、プゼク欧州議会議長は、EURONESTの活動の目的は東方パートナーシップ対象国における民主主義の基本的価値観の強化である旨発言。

・3日、アシュトンEU外務・安全保障政策上級代表及びフィーレ欧州拡大・近隣政策担当委員は、東方パートナーシップの枠組みであるEURONESTの創設を歓迎する旨の共同声明を发出。

▼その他

・2日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウサマ・ビン・ラーディンの死亡はテロの無い世界を望むあらゆる国にとって重要である旨コメント。

・4日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国を救い、ウクライナの経済を立て直すために、「ハリコフ合意」に署名した旨発言。

4 . 防衛

NATO

・5日、クリムキン外務次官がブリュッセルを訪問、アパスライNATO事務総長補代理(政治安全保障政策局担当)と会談。ウクライナ・NATO関係、2011年における年間国家プログ

ラム実施状況及びアフガニスタンとリビアにおける国際社会の取り組みを含む安全保障問題等につき協議

その他

・4日、エリセイエフ海軍第一副司令官は、ロシア・ウクライナ軍事演習「平和の航路2011」準備最終会議に際して、露黒海艦隊とウクライナ海軍は7月までに黒海地域において共同射撃訓練を実施すると発言。

B . その他の動き

5 / 2 (月)

・国防省筋は、独立記念日パレードのために5,600万グリブナが使用されると発言。

5 / 5 (木)

・黒海造船所と国営企業「Research and Design Shipbuilding

Center」は、空母等を含むあらゆるクラスの艦船のデザイン、建造及びオーバーホールにおける相互協力に合意。

(了)